

大野市避難行動要支援者の避難支援プラン作成計画改定委員会

令和4年6月28日 13時30分～ 結とびあ303号室

1 委嘱状交付

2 あいさつ

・市長あいさつ

他市町でも避難支援プランの計画策定の動きがある。大野市においても災害が起きた時に適切に対処できるよう、現在ある避難支援プラン作成計画を現状に合わせ実行性のあるものに変えていきたい。

東日本大震災を発端に計画策定の動きが出てきたが、当時、実際に計画があれば救えた方も多かったのではないかと思う。大野市でも高齢化が進み真に必要な方が対象になるよう変えていきたい。

・会長、副会長選出

会長 田中 邦弘 様

副会長 萩原 勢子 様

・田中会長挨拶

早くに梅雨が明け、異常気象が起きている。災害が増え、高齢者等の被害が多くなる可能性がある。その方たちに有効になるようなプランにしていきたい。

3 議事

(1) **資料1**に基づき大野市の避難支援プランの現状、課題等について説明

(要約)

避難支援プラン対象者が4773名おり、そのうち2057名の方が作成している。避難支援プランの作成や更新については自主防災会や自治会長に依頼している。高齢化が進み支援する側の人材不足が懸念される中、真に必要な方の作成を促していく必要がある。

【質疑応答】

副会長 資料1、1ページ目②記載事項の中で性別の欄があるがこのご時世性別を分けるのはどうか？

事務局 現状は分けているが、今後それを変えていくか委員会の中で検討していきたい。

高橋委員 資料1、4ページ目④避難支援プランの確認方法の簡略化と書いてあるがどのようにしているか？

事務局 郵便で65歳以上の一人暮らしの方、70歳以上のみで構成された世帯以外の要件で作成対象者になられている方は直接様式を送付して書いていただく。登録済みの方などはあらかじめ様式にデータとして出力し変更点だけ記載していただく方法をとっている。

(2) 資料2に基づき国の取組指針の改定について説明

(要約)

国の取組指針では、頻発する自然災害に対応し、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化を図るため法改定した。高齢者や障がい者等が確実に避難できる体制を構築する。実際に水害や台風などの災害において高齢者や障がい者の犠牲となる割合が高い。その中で優先度を踏まえた個別避難計画を策定しなければならない。

【質疑応答】

特になし

(3) 資料3 資料4に基づき今後の避難支援プランの取り組み指針、改正案、今後のスケジュールについて説明

(要約)

改正案としては、国の方針に基づき、優先度の高い方やハザードマップなどを活用し、危険な地域にお住まいの方などの作成を促進する。今後、三回の委員会を開いて年末ごろに全体計画を策定したい。

【質疑応答】

会 長 この資料3の改正案などはWGで検討した結果なのか？

事 務 局 そうです。

森下委員 障がい者手帳を持っている方で作成するしないの働きかけはどちらからしているのか？

事 務 局 市から直接郵送で依頼し、働きかけている。

森下委員 障がいを持っているが手帳が交付されていない方はどのように働きかけるのか？

事 務 局 民生委員さん等から情報を貰って対応している。支援プラン作成の中で情報を集めて働きかけている。

長谷部委員 この委員会で個票を作ったりするのか？

事 務 局 この委員会は避難支援プラン作成計画の改定委員会のため個票までは考えていない。

長谷部委員 大野では雪害が多く雪害に適した大野独自の避難支援プランを作るのはどうだろうか？

事 務 局 ただいま、ご覧いただいた資料3の避難支援プラン改正案は水害を想定したものである。避難支援プランを用いて雪害に利用することは可能と考える。

長谷部委員 雪害時に安否確認をしたが、大雨の時は市からの連絡がなかった。

事 務 局 雪害については克雪関係で対応している。この避難支援プランは避難をする際にどういう助けがいるかの個別の避難計画となっている。その中で優先度をつ

けてどのように対応するのかを決めていきたい。

事務局 今回の議論を持ちかえり事務局で検討したうえで、次回の委員会で方向性を決めていきたい。

(4)【意見交換】

副会長 避難所までの避難ルートで危険が見られる場所があるため、避難所の再検討をしてほしい。

長谷部委員 避難支援の在り方を学び防災への心がけは大切と考える。

水上委員 避難の仕方、あり方などを考えていきたい。

森下委員 避難支援プランの中に相談員がついて避難しやすくしたい。また手帳を交付した段階で避難支援プランの名簿に載るようにしてほしい。

高橋委員 改定によって必要な方が対象となるプランを作りたい。

十良委員 実際に災害が起こると対処が難しい。さまざまな関係機関と協力していきたい。

小嶋委員 消防では予防課があり、避難訓練なども行っている。地域の避難訓練でも災害を想定した訓練でプランを利用したい。

笠松委員 真に支援が必要な方が対象になるような計画を策定していきたい。

井上委員 雪害で高齢者の方の安否確認をしたが、どこに連絡すればよいのか分からない時があったため平常時から備えていきたい。

中屋委員 支える側が少なくなり優先度をつけたプランを作ることでわかりやすくしたい。

4 その他

事務局 8月下旬ごろに第2回策定委員会を予定している。